

小中連携だより

比布町立中央小学校
比布町立比布中学校
発行：2021年2月26日
第2号

先を見据えて

比布町教育研究所副所長 紺野元樹

私が5年前に勤務した東川町の話をしてします。東川町は、市街地地区、第一地区、第二地区、第三地区の4つに分かれています。幼児教育は、保育園と幼稚園を一元化した「幼児センター」1か所で行われています。そして、小学校はそれぞれの地区にある4校に分かれています。小学校を卒業すると町唯一の東川中学校でまた再会するのです。最初はおもしろい仕組みだなと思ったのですが、これが実はなかなかよい仕組みなのです。市街地の小学校以外の3校は、みんな小さな学校なのですが、中学校に進学しても幼児センター時代の友だちがいるので、あまり臆することがありません。むしろ、小さな学校出身の子どもたちの方が何かにつけ積極的だということです。私は東川第三小学校にいましたが、それぞれの小学校では、地区の特色を生かした活動を行うとともに次の段階（中学校）に進んだときに困らないよう、コミュニケーション能力、表現力、自己肯定感なども身に付けさせるために発達段階に応じた指導を行っていました。

システムは異なりますが、比布町の小中一貫教育も中学校卒業後を見据え、どのような力が必要かを考え実践しています。ほとんどの子が保育園から十年以上同じ集団で過ごすので、高校等で新しい人間関係をスムーズに構築したり、異なる集団でも自信をもって自分を表現したりできる子どもを育てよう私たちは努めています。

今年度は、小中合同の取組も地域の方々と一緒に活動もほとんど行うことができませんでした。次年度もいろいろな制約が続くとは思いますが、その中でもできることは何か、どうすればできるかなど知恵を出し合い、「すべては比布の子どもたちのために」という理念のもと、保護者・地域の皆様のお力もお借りしながら、「めざす中3の姿」の達成を目指します。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、毎年行ってきた小学校と中学校の交流を目的とした活動や行事などをほとんど行うことができませんでした。しかし、多くの制限がある中でも、今できることをできる形で取り組んできたことをご紹介します。

●小中合同マラソン大会

今年度は、残念ながら小中合同でのマラソン大会はできませんでした。

小学校は、2学年ずつ低・中・高で行いました。雨上がりの日に走ることにになり、公務補の原田さんが、子どもたちが走りやすいように道路の水はけをよくしてくれました。一年を通して、多くの場面で子どもたちの活動を支えてくださっています。

中学校は、生徒が3kmコースと5kmコースのどちらかを選択して参加する形で行いました。自分のペースをしっかりと守り、最後まで諦めずに走り抜いていました。

●小中合唱交流会

飛沫が飛ぶため、歌を歌うことも制限された今年度の学校生活。合同合唱交流会も中止になりました。

心をつなげて歌うことで心を通わせ、学年を超えた小中のつながりを感じられる合唱交流会。ぜひ来年度は、状況がよくなり実施できることを願っています。



● 乗り入れ授業・出前授業

小中連携の取組の軸として、乗り入れ授業や出前授業を行っています。中学校の教員が小学校の児童との交流を深めて中学校入学後へとつなげたり、小学校の教員が中学校入学後の生徒の様子を把握したりすることをねらいとしています。今年度の取組は下記の表の通りです。

【乗り入れ授業】

対象	教科	曜日	小中	先生名
小学校6年生	算数	毎日 (週5)	中	山崎先生
小学校 5・6年生	英語	水・金 (週4)	中	堀先生 齋藤先生
中学校全学年	授業 支援	木(週1)	小	吉澤先生

【出前授業】

対象	教科	日時	先生名
小学校5年生	国語	7/6(月)	牧野先生
小学校4年生	音楽	11/26(木)	村山先生
小学校5年生	社会	12/15(火)	梶田先生
小学校4年生	算数	12/23(水)	山崎先生
小学校4年生	体育	3月の予定	佐藤先生
小学校5年生	理科	3月の予定	堀川先生



小4音楽 村山先生の感想

とても元氣よく、集中して演奏や話をきいてくれました。豊かな感性をもった人ばかりで、器楽の曲もほんの少しのアドバイスをすぐに吸収して素晴らしい演奏にすることができます。発表会本番もとても立派な演奏をきかせてもらいました！



小5社会 梶田先生の感想

初めて5年生で授業をしましたが、周りの友達と協力しながら国の位置を探したり、積極的に挙手をしたりする様子が見られ、大変素晴らしい学習態度でした。国名をたくさん書いている人もいて驚きました。これからも小学校で頑張って勉強し、中学校でさらに成長してくれることを期待しています。



小4算数 山崎先生の感想

今回は、「論理的思考力」をテーマに、文章から必要な情報を読み取ったりパズル問題に挑戦したりしました。児童の皆さんがとても活発に取り組んでくれ、いろんな角度から問題を捉えて考えることの楽しさを感じてもらうことができました。

子どもたちの声



小4音楽 村山先生の授業

- ・目の前でえんそうをしてもらえてうれしかったです。とても楽しかったです。
- ・コンサートに行きたいので、音楽が好きになりました。
- ・自分も楽器をえんそうしてみたくまりました。

小5社会 梶田先生の授業

- ・世界の国をたくさん書いたりみんなの発表を聞いたりして、楽しかったです。
- ・すごく楽しくてわかりやすかったです。
- ・緯線と経線の見方がわかりました。(よこいけいた)
- ・ゲームをしながらで、おもしろかったです。

小4算数 山崎先生の授業

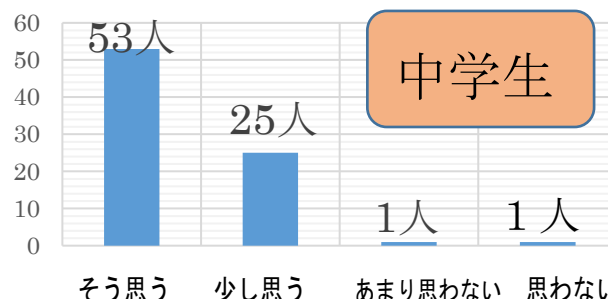
- ・はじめはよくわからなくても、少しずつわかってきて楽しかったです。
- ・いろいろな考えが出てきて楽しかったです。
- ・かんたんだと思ったけど、考えてみるとむずかしくてやりがいがありました。

●小中連携アンケート集計結果

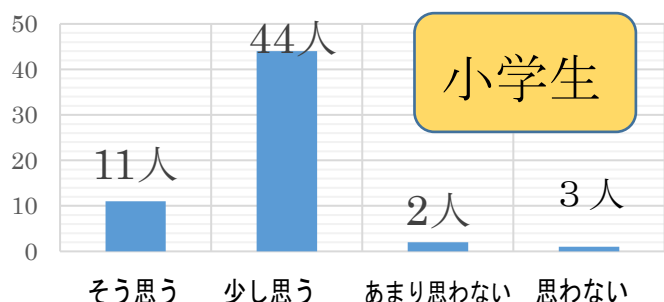
11月に児童生徒、そして保護者の皆様に小中連携に関わるアンケートをとらせていただきました。その結果についてご紹介いたします。この結果を踏まえ、次年度以降の活動をさらに充実させていきたいと思っております。

(1) 児童・生徒アンケート結果 (小学校4～6年生, 中学校1～3年生からの回答)

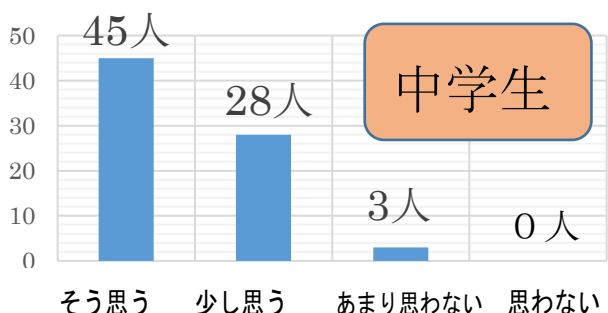
①小学校と中学校の先生方が行き来して、授業を教えてくれることは良いことだと思いますか。



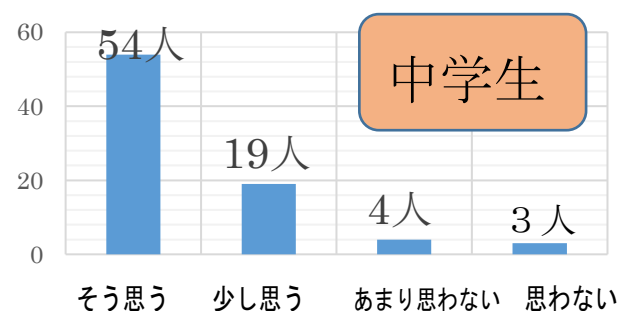
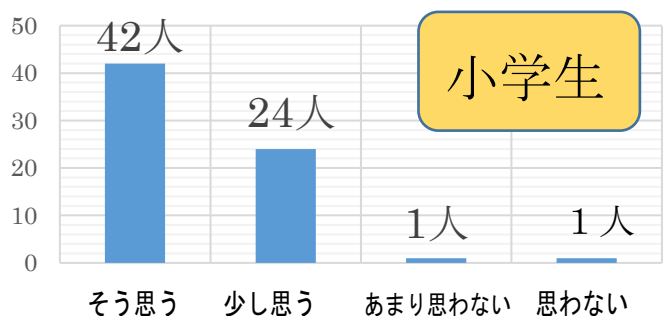
②6年生の算数で、中学校の先生が勉強を教えてくれるのは楽しみですか。



③小学校の頃に、中学校の先生が授業に来て教えてくれたことは、中学校に入って役に立っていますか。



④小中合同の行事や取組で、小学生と中学生と一緒に活動することは、良いことだと思う。



◎自由記述より抜粋

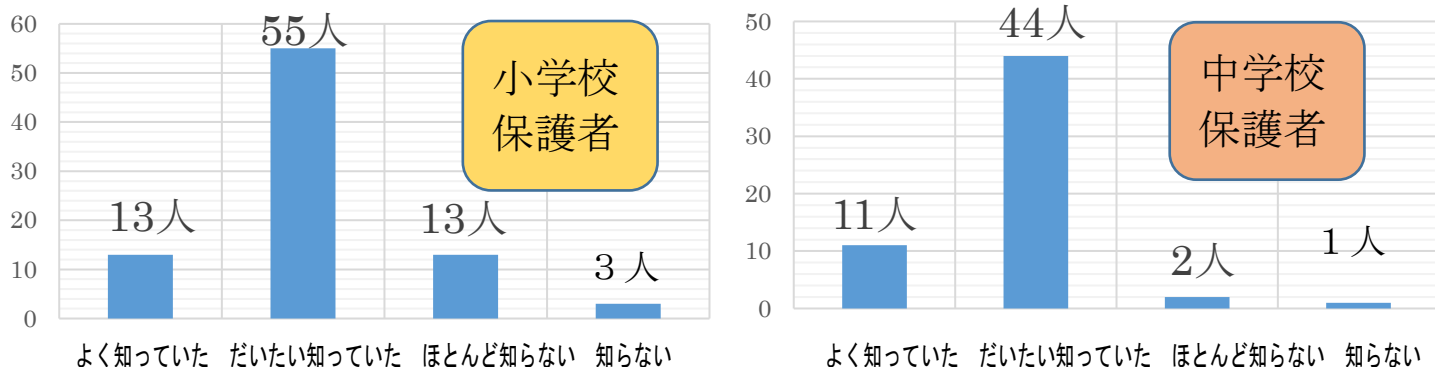
- ・算数だけではなく他の教科もやった方がよい。(乗り入れ授業)
- ・中学生と一緒に遊んでみたい。
- ・中学校の先生が授業をしてくれて、わかりやすい。
- ・あいさつ活動で、あいさつができる学校になる。
- ・中学校の先生は、少し難しい中学校の問題を出してくれるからよい。
- ・合同の活動を増やす。継続する。
- ・一日体験に行ってもわからないことを知ることができた。
- ・合同での行事があるとよい。
- ・体育大会と運動会、学校祭と学習発表会を合同にしたい。
- ・生活の規律が激変しなくて良かった。
- ・生活体験のときに、中学校の先生に教えてもらってわかりやすかった。
- ・小学校の頃、中学校の先生が来てくれてよかった。
- ・算数の比例の授業がわかりやすかった。
- ・中学生の先生が小学生を教えるメリットを感じづらい。
- ・小中学生が直接関わるような交流をやりたい。
- ・小学校と中学校で使っている場所は、使いづらくて不便なことがある。

小学生、中学生ともに「乗り入れ授業」や「出前授業」に対して評価が高いです。また、小学生と中学生と一緒に活動することに対して、高い評価になっています。「中学校の先生が授業をしてくれて、わかりやすい。」「小学校の頃、中学校の先生が来てくれてよかった。」という記述があるように、これまでの取組が、子どもたちの安心感や学習への前向きな姿勢を育むことにつながっています。

(2) 保護者アンケート結果

- ①中学校⇄小学校への「乗り入れ授業」 ②中学校→小学校への「出前授業」 ③交流学习
 ④小中合同あいさつ運動 ⑤生活リズムチェック ⑥授業の心得の共通化 ⑦小学生1日体験入学
 ⑧小中合同避難訓練 ※5月に実施できなかったため、10月に行いました。
 ⑨小中連携通信 ※年2回（10月・2月）発行を予定

①上記の活動について、知っていましたか？



◎自由記述より抜粋

- ・翌月の活動など、早めに教えていただけたら助かります。
- ・小中と途切れることなく連続した目で指導していただけることに安心感を覚えます。小学生のときに見た、中学生になりたいと子どもたち自身が目標をもつこともできるのではと思います。
- ・6年生で、一度テストで、自分がクラスでどの位置にいるか分かる機会があっても良いのかなど。早い段階で分かれば頑張りようがあるのでは。
- ・子どもたちにとって、大変良い取組だと思います。これからも継続していただきたいです。
- ・小学生にとっては、授業はもちろん、普段の中学生の様子を見ることで、目指す姿が常にあり非常によいと思います。
- ・中学校の学習とどう関連していくのか知ることができて良い。・交流して中1ギャップが緩和すると良い。
- ・中学校のことがわかって良い。今後も継続してほしい。・⑤が連携していると知らなかった。
- ・少年団活動の卒団後の部活参加も検討してほしい。・1日体験が良い。
- ・生活リズムチェックやアンケートは資源の無駄遣い。マチコミを使うと良い。
- ・乗り入れ、出前授業等はとても良いことと感じていました。中学校の授業に小学生が体験の時数を増やしたり中学生が小学低学年の授業手伝いに etc.地域性を生かした小中連携になるといいなと感じます。
- ・せっかく隣同士に小中学校があり、行き来できる環境ならば子ども（児童、生徒）同士が関わり、連携につなげることができる取り組みがあればと思います。具体的に・・・は出てこそですがすみません。
- ・今年はコロナ禍の中、行事を開催して頂けるだけで有り難いです。（小中合同を無くした件）又、学習面でも姉妹で共通の先生に関して会話がはずむなど良さ面もあります。中学校進学に向けての小学6年生の取り組みも良さ面です。
- ・今後の展開を期待しています。具体的な成果も表示してください。
- ・子どもを第一に考えた取組（子どものため）になるよう今後もよろしくお願いします。
- ・中学校の先生の負担が大きいのではないかと。生徒にも影響が出るのではないかと。
- ・先生方の負担を考慮するならば現状がベストだと思います。これ以上関わりを大きくすると、小中学校の各教員の負担が今以上に大きくなります。間違いありません。先生方の声を大事にしてください。
- ・中学校の先生方の負担がとても大きいと思います。しわ寄せが生徒や先生方にこないようにしてほしい。

自由記述の内容から、小中連携の実践については概ね保護者の皆様のご理解が得られていると考えます。「小中と途切れることなく連続した目で指導していただけることに安心感を覚えます。」「普段の中学生の様子を見ることで、目指す姿が常にあり非常によいと思います。」というご意見の通り、身近な目標があり安心して生活できることが、小中連携のよさだと思えます。今後は、小中連携の取組についてわかりやすくお知らせすること、教員の負担を考慮することなどを、次年度に向けて検討していく必要があります。